

科目ナンバリング		U-LAS41 10002 PJ49							
授業科目名 <英訳>	スポーツ実習 I B [アダプテッド・スポーツ] Sports I B [Adapted sports]				担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 江川 達郎			
群	健康・スポーツ科目群		分野(分類)	スポーツ実習		使用言語	日本語		
旧群	D群	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	実習(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・ 後期集中		曜時限	集中 未定		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>アダプテッド・スポーツとは、ルールや用具を改良することにより、障害の有無や身体活動能力、年齢にかかわらずスポーツ活動を楽しむことができるように工夫・適合(adapt)されたスポーツのことである。本授業では、障害のある学生(疾患や怪我等による一時的な障害を含む)を対象に、履修者の障害の特性・程度に合わせたメニューを作成し、個別あるいは少人数でのスポーツや運動トレーニングを実施する。積極的に体を動かすことにより心身機能の充実をはかるとともに、生活の中に十分な身体活動を根付かせ、各自の状況に合った健康づくりに生かすことを目指す。</p>									
[到達目標]									
<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康に運動実施が有効であることを体感する。 ・自身にadaptした運動の実施方法を見出し、主体的に運動を実施する意欲を身につける。 									
[授業計画と内容]									
<p>履修希望者に対しヒアリングを行い、障害の特性・程度、体力レベルに応じたスポーツあるいは運動トレーニングを実施する。 実施日程は履修者の希望に応じて、集中開催あるいは毎週開催など柔軟に応じる。</p>									
【授業内容例】									
ウォーキング・ジョギング・サイクリング									
学外での散策や学内グラウンドでの実施									
水泳・水中ウォーキング									
学内プールあるいは学外施設(京都市障害者スポーツセンター等)にて実施									
体力トレーニング									
学内あるいは学外施設(京都市障害者スポーツセンター等)にて実施									
従来型スポーツ									
バレーボール・バドミントン・サッカー・フットサル・バスケットボール・卓球などの種目を学内体育館やグラウンドにて実施									
レクリエーションスポーツ									
ペタンク・フライングディスク・ファミリーバドミントン・ショートテニスなどの種目を学内体育館やグラウンドにて実施									
障害者スポーツ									
ポッチャ・車いすハンドボール・スポーツ吹き矢・射撃・トランポリン・サウンドテーブルテニスなどの種目を学内あるいは学外施設(京都市障害者スポーツセンター等)にて実施									
[履修要件]									
<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は障害等のある学生(疾患や怪我等による一時的な障害、その他の心身の不調を含む)を対象とする。 ・障害等のある学生のスポーツ実習に際しては、希望する実習科目の履修が可能となるよう、学生総合支援センター 障害学生支援ルームとの連携のもとに、障害等の状況に合わせた支援・調整を行う 									
スポーツ実習 I B [アダプテッド・スポーツ](2)へ続く									

スポーツ実習ⅠB [アダプテッド・スポーツ](2)

う。本科目は、支援・調整によっても、希望する実習科目の履修が困難な場合、あるいは本科目以外にスポーツ実習の履修が困難と考えられる場合に、開講を検討する。
・履修内容は、履修希望者のヒアリングに基づき、障害学生支援ルームと協議の上で判断する。また、必要に応じて、所属学部や健康科学センター等とも協議する。

[成績評価の方法・観点]

出席状況と実習への取り組みの積極性を総合的に評価する。詳細は初回授業の時に説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
矢部京之助 他 『アダプテッド・スポーツの科学』(市村出版) ISBN:978-4-902109-01-6

[授業外学修(予習・復習)等]

- ・個々の心身の状態を十分に把握しておくこと。
- ・様々なスポーツを観戦し、スポーツ実施への関心を深めておくこと。

[その他(オフィスアワー等)]

学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険へ加入しておくこと。

[主要授業科目(学部・学科名)]